

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公表番号】特表2021-505046(P2021-505046A)

【公表日】令和3年2月15日(2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-007

【出願番号】特願2020-528892(P2020-528892)

【国際特許分類】

H 04 N	21/482	(2011.01)
H 04 N	21/442	(2011.01)
H 04 N	21/439	(2011.01)
H 04 N	21/432	(2011.01)
G 10 L	15/10	(2006.01)
G 06 F	3/16	(2006.01)

【F I】

H 04 N	21/482	
H 04 N	21/442	
H 04 N	21/439	
H 04 N	21/432	
G 10 L	15/10	200 W
G 06 F	3/16	650

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月22日(2021.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

会話との関連でコンテンツを推奨する方法であって、前記方法は、ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の口頭会話を監視することと、

前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出すことと、

前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出することと、

前記キーワードのうちの1つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索することであって、前記複数のクリップを検索することは、

前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、

前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと

による、ことと、

前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示することと

を含む、方法。

【請求項2】

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別することと、  
前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択することと

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

口頭会話処理ウィンドウを生成することと、

前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶することと

をさらに含む、請求項1 - 2のいずれか1項に記載の方法。

【請求項4】

聴取モードをアクティブにすることをさらに含み、前記監視することは、前記聴取モードがアクティブであるときに実施され、前記聴取モードが無効にされているとき、実施されない、請求項1 - 3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、請求項1 - 4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、請求項1 - 5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアアセットの場面または一部である、請求項1 - 6のいずれか1項に記載の方法。

【請求項8】

前記口頭会話中に前記コンテンツを前記ユーザに自動的に提示することは、前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示することを含む、請求項1 - 7のいずれか1項に記載の方法。

【請求項9】

前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示することをさらに含む、請求項1 - 8のいずれか1項に記載の方法。

【請求項10】

キーワードを選択的に読み出すことは、前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別することを含む、請求項1 - 9のいずれか1項に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

いくつかの実施形態において、メディアガイドアプリケーションは、複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する口頭会話における言葉を識別することによって、キーワードを選択的に読み出す。ユーザのプロファイルは、例えば、ユーザ選好（例えば、お気に入りの番組、お気に入りのジャンル、お気に入りの女優）、ユーザの視聴履歴、ユーザのメディア消費に関連付けられた共通キーワード、個人情報、会話に関連性があり得る他のユーザの名前、またはユーザについての他の情報等の情報を含み得る。例えば、メディアガイドアプリケーションは、「Jamie」および「Jon」等の会話における言葉を識別し、ユーザのプロファイルのうちの1つにアクセスし、Game of Thro

ness (GOT) をお気に入りの番組として識別し得る。故に、メディアガイドアプリケーションは、「Jamie」および「Jon」をGOTの中の登場人物として認識し、「Game of Thrones」をキーワードに追加するか、または、Game of Thronesクリップの中からキーワードを検索し得る。

本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。

(項目1)

会話との関連でコンテンツを推奨する方法であって、前記方法は、  
ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の会話を監視することと、  
ウェイクワードを受信することなく、前記会話におけるキーワードを検出することと、  
前記キーワードのうちの1つに合致するコンテンツを検索することと、  
前記ウェイクワードを受信することなく、前記コンテンツを前記ユーザに自動的に提示することと  
を含む、方法。

(項目2)

会話との関連でコンテンツを推奨する方法であって、前記方法は、  
ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の口頭会話を監視することと、  
前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出すことと、  
前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出することと、  
前記キーワードのうちの1つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索することであって、前記複数のクリップを検索することは、  
前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、  
前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと  
による、ことと、  
前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示することと  
を含む、方法。

(項目3)

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別することと、  
前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択することと  
をさらに含む、項目2に記載の方法。

(項目4)

口頭会話処理ウィンドウを生成することと、  
前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶することと  
をさらに含む、項目2に記載の方法。

(項目5)

聴取モードをアクティブにすることをさらに含み、前記監視することは、前記聴取モードがアクティブであるときに実施され、前記聴取モードが無効にされているとき、実施されない、項目2に記載の方法。

(項目6)

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、項目2に記載の方法。

(項目7)

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、項目2に記

載の方法。

(項目 8 )

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアセットの場面または一部である、項目 7 に記載の方法。

(項目 9 )

前記口頭会話中に前記コンテンツを前記ユーザに自動的に提示することは、前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示することを含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 10 )

前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示することをさらに含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 11 )

キーワードを選択的に読み出すことは、前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別することを含む、項目 2 に記載の方法。

(項目 12 )

会話との関連でコンテンツを推奨するためのシステムであって、前記方法は、複数のユーザ間の口頭会話を監視するように構成された聴取デバイスと、

制御回路と

を備え、

前記制御回路は、

前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出すことと、

前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出することと、

前記キーワードのうちの 1 つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索することであって、前記複数のクリップを検索することは、

前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、

前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと

による、ことと、

前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示することと

を行うように構成されている、システム。

(項目 13 )

前記制御回路は、

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別することと、

前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択することと

を行うようにさらに構成されている、項目 12 に記載のシステム。

(項目 14 )

前記制御回路は、

口頭会話処理ウィンドウを生成することと、

前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶することと

を行うようにさらに構成されている、項目 12 に記載のシステム。

(項目 15 )

前記制御回路は、聴取モードをアクティブにするようにさらに構成され、前記制御回路

は、前記聴取モードがアクティブであるとき、前記複数のユーザ間の前記口頭会話を監視し、前記聴取モードが無効にされているとき、前記複数のユーザ間の前記口頭会話を監視しないようにさらに構成されている、項目12に記載のシステム。

(項目16)

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、項目12に記載のシステム。

(項目17)

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、項目12に記載のシステム。

(項目18)

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアアセットの場面または一部である、項目17に記載のシステム。

(項目19)

前記制御回路は、前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示するようにさらに構成されている、項目12に記載のシステム。

(項目20)

前記制御回路は、前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示するようにさらに構成されている、項目12に記載のシステム。

(項目21)

前記制御回路は、前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別するようにさらに構成されている、項目12に記載のシステム。

(項目22)

会話との関連でコンテンツを推奨するための非一過性のコンピュータ読み取り可能な命令を備えている非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体であって、前記非一過性のコンピュータ読み取り可能な命令は、

ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の口頭会話を監視するための命令と、

前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出すための命令と、

前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出するための命令と、

前記キーワードのうちの1つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索するための命令であって、前記複数のクリップを検索することは、

前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、

前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと

による、命令と、

前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示するための命令と

を備えている、非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目23)

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別するための命令と、

前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択するための命令と

をさらに備えている、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目24)

口頭会話処理ウィンドウを生成するための命令と、

前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶するための命令とをさらに備えている、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。  
(項目25)

聴取モードをアクティブにするための命令をさらに備え、前記監視することは、前記聴取モードがアクティブであるときに実施され、前記聴取モードが無効にされているとき、実施されない、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目26)

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目27)

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目28)

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアアセットの場面または一部である、項目27に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目29)

前記口頭会話中に前記コンテンツを前記ユーザに自動的に提示するための前記命令は、前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示するための命令を備えている、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目30)

前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示するための命令をさらに備えている、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目31)

キーワードを選択的に読み出すための前記命令は、前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別するための命令を備えている、項目22に記載の非一過性のコンピュータ読み取り可能な媒体。

(項目32)

会話との関連でコンテンツを推奨するための装置であって、前記装置は、ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の口頭会話を監視する手段と、

前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出す手段と、

前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出する手段と、

前記キーワードのうちの1つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索する手段であって、前記複数のクリップを検索することは、

前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、

前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと、

による、手段と、

前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示する手段と  
を備えている、装置。

(項目33)

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別する手段と、  
前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択する手段と

をさらに備えている、項目32に記載の装置。

(項目34)

口頭会話処理ウィンドウを生成する手段と、

前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶する手段と  
をさらに備えている、項目32に記載の装置。

(項目35)

聴取モードをアクティブにする手段をさらに備え、前記監視することは、前記聴取モードがアクティブであるときに実施され、前記聴取モードが無効にされているとき、実施されない、項目32に記載の装置。

(項目36)

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、項目32に記載の装置。

(項目37)

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、項目32に記載の装置。

(項目38)

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアアセットの場面または一部である、項目37に記載の装置。

(項目39)

前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示する手段をさらに備えている、項目32に記載の装置。

(項目40)

前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示する手段をさらに備えている、項目32に記載の装置。

(項目41)

前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別する手段をさらに備えている、項目32に記載の装置。

(項目42)

会話との関連でコンテンツを推奨する方法であって、前記方法は、  
ユーザ機器を用いて、複数のユーザ間の口頭会話を監視することと、  
前記口頭会話が継続しているとき、前記口頭会話における言葉を処理し、前記口頭会話における前記言葉からキーワードを選択的に読み出すことと、

前記選択的に読み出されたキーワードに基づいて、ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話における前記キーワードを検出することと、

前記キーワードのうちの1つに合致するクリップに関して、複数のクリップを検索することであって、前記複数のクリップを検索することは、

前記複数のクリップの各々に関連付けられたメタデータを前記検出されたキーワードと比較することと、

前記比較することに基づいて、前記クリップのうちの別のものに関連付けられたメタデータより多くの前記キーワードに合致するメタデータを有する前記複数のクリップのうちのクリップを選択することと

による、ことと、

前記ウェイクワードを受信することなく、前記口頭会話中に前記クリップを前記ユーザに自動的に提示することと

を含む、方法。

(項目43)

前記検出されたキーワードに関連付けられたコンテンツタイプを識別することと、  
前記識別されたコンテンツタイプに基づいて、検索すべきコンテンツソースを選択することと

をさらに含む、項目42に記載の方法。

(項目44)

口頭会話処理ウィンドウを生成することと、  
前記ウィンドウの開始時間に先立って検出された言葉が破棄されるように、前記会話処理  
ウィンドウ内で検出される前記口頭会話における言葉を一時的に記憶することと  
をさらに含む、項目42-43のいずれか1項に記載の方法。

(項目45)

聴取モードをアクティブにすることをさらに含み、前記監視することは、前記聴取モードがアクティブであるときに実施され、前記聴取モードが無効にされているとき、実施されない、項目42-44のいずれか1項に記載の方法。

(項目46)

前記複数のクリップの各々は、閾値持続時間未満である、項目42-45に記載の方法。  
。

(項目47)

前記キーワードは、メディアアセットにおけるセグメントに関連しており、前記複数のクリップの各々は、前記メディアアセットの場面におけるコンテンツを表す、項目42-46のいずれか1項に記載の方法。

(項目48)

前記セグメントは、スポーツイベントにおけるプレーを特徴とする前記メディアアセットの場面または一部である、項目42-47のいずれか1項に記載の方法。

(項目49)

前記口頭会話中に前記コンテンツを前記ユーザに自動的に提示することは、前記ユーザ機器上で現在提示されているコンテンツを変更し、前記クリップを提示することを含む、項目42-48のいずれか1項に記載の方法。

(項目50)

前記会話における前記キーワードを検出することに応答して、前記クリップが選択されたという指示を伴う前記クリップと共に前記検出されたキーワードのうちのいくつかを提示することをさらに含む、項目42-49のいずれか1項に記載の方法。

(項目51)

キーワードを選択的に読み出すことは、前記複数のユーザの各々のユーザプロファイルに合致する前記口頭会話における言葉を識別することを含む、項目42-50のいずれか1項に記載の方法。